平野ヶ丘

多治見市立養正小学校

校 報『平野ヶ丘』

令和５年度　学校報　第３号
令和５年５月 30 日（火）発行
「元気が生まれる養正小学校」

『 地域と共にある学校 』

校 長　高橋　光弘

５月２２日の夜、養正公民館で養正地域会議が開催されました。この会議には、各区長さんをはじめ、青少年まちづくり市民会議及び養正地域福祉協議会の代表の皆さん、主任児童委員さん、育友会代表の皆さんなど、養正地域の活性化を目指して日々取り組んでみえる方々が参加されています。

会議の中で、青少年まちづくり市民会議の会長さんから、『養正地区こどもサポーター宣言』を提唱したいという提案がありました。学校で困ったことや、助けてほしいことがあればいつでも声をかけてほしいと語られました。学校としても、大変心強く思いました。と同時に、ありがたく思いました。子どもの教育は、学校、家庭、地域が手を取り合って進めるものだと考えています。こうした考えの基、養正小学校は学校運営協議会を設置し、『コミュニティスクール』を推進しています。

５月２３日には、１年生と２年生による「こいのぼり集会」が行われました。この集会は、今や養正小学校の伝統的な行事の一つとなっています。しかし、学校だけでは続けることはできなかったと聞いています。おやじの会をはじめ地域の方々や、育友会の役員さんには、こいのぼりの布などの準備をしていただきました。準備をされる皆さんの元気な笑顔が印象的でした。１年生の子どもたちは、うれしい気持ちで風景の絵を描いてこいのぼりを仕上げました。そして、育友会の役員さんに、中庭に飾っていただきました。このように「こいのぼり集会」という一つの行事は、地域の方々や保護者の協力のおかげで成り立っているのです。

この他にも、プール掃除もこの５月に行われました。雨が降る中、育友会の役員さんに美しくしていただきました。役員の皆さんのおかげで６月には、元気に水泳をすることができます。

また、まちづくり市民会議の皆さんには、子どもたちを巻き込んで「花いっぱい運動」を進めていただいています。美化委員会の子どもたちは、地域の方々と一緒にマリーゴールドの種を植え、苗の植え替えをしました。ありがたいことに、土曜日や日曜日は地域の方に水やりもやっていただいています。こうやって学校と地域が育てた花が、町に広がることを楽しみにしています。養正小学校は、『地域と共にある学校』だと改めて思います。これからもよろしくお願いします。

うれしい電話がありました！

５月の半ば頃の夕方、地域の方から１本の電話が学校に入りました。他の校区から、養正校区に引っ越してみえた方からの電話でした。「養正小学校の子は、横断歩道で止まった車にほとんどの子が、頭を下げてお礼の気持ちを伝えてくれます。とても気持ちがよく、感心しました。」というものでした。このような連絡は、子どもたちや教職員の元気につながります。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。